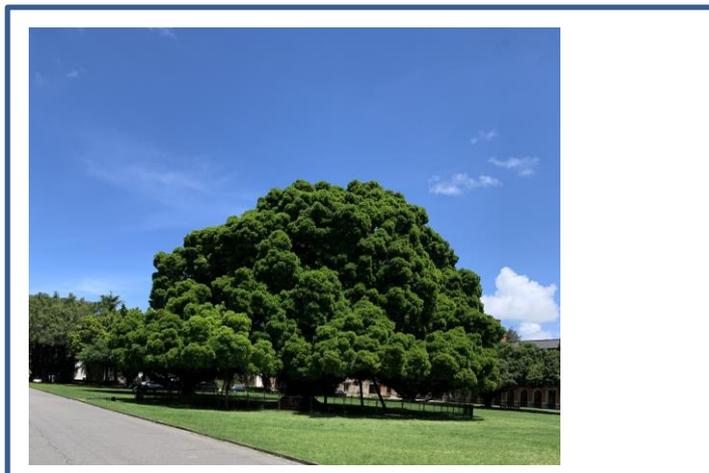


OMU Students 海外留学レポート



氏名	F.K.
所属	工学部 機械工学科
学年	3年
留学先	国立成功大学
留学期間	2022/9/1~2023/6/30

留学レポート Study Abroad Report

私は 2022 年の 9 月から 10 ヶ月間、台湾の国立成功大学工学部機械工学科に交換留学をしました。元々、高校生くらいの海外で過ごしてみたい、英語を含めて他の言語を勉強してみたいという思いがありました。1 年生の時に第二言語として中国語の授業を受講している中で、講師の先生から中国での留学生活等の話を聞く中で実現に移してみたいと考えたのが留学を志した経緯です。

(1) 留学前

まず、台湾への留学を決めた経緯として、1 番の要因は中国語を受講していたことでした。第二言語の授業として学習していると、言語の資格を取る必要が無く(語学力のため、取得はおすすめる)、実際に中国語への興味も授業と通じて大きくなっていました。中国語と聞くとまず中国を思い浮かべそうですが、国際的な状況(政治的、コロナウイルスによる規制等)や台湾の繁体字への興味などから台湾を選択しました。国立成功大学を選択した理由として、専攻分野である機械工学に長けていることが大きな理由でした。私は英語での受講を希望していたのですが、留学のための準備として、英語以外にも中国語は勉強していきました。日常生活では中国語を使わないといけなないので授業では必要ないにしろ、勉強していくと良いと感じました。

(2) 渡航から留学開始まで

9 月からの渡航だったのですが、コロナウイルスによる入国制限で留学できるかわからない状況が続き、留学の延期、オンラインでの留学、留学自体のキャンセルなどの選択肢が与えられました。7 月の半ばくらいにようやく入国できるとの連絡を頂き、大慌てで準備をしたのを覚えています。これまでは留学の延期をすることを視野に入れていたため、必要品の購入、航空券の予約、必要書類の申請など不備がないかの確認などに追われ、留学前に日本を楽しむなんてことなくあっという間の渡航日でした。ビザ、入境許可の申請や、麻疹風疹の抗体検査には結果を受け取るまでに時間がかかるため、幸いにも最初はオンライン授業だったものの授業開始に間に合わないと知ってかなり落ち込んだのを覚えています。台湾入国後は 1 週間ほどの隔離があり、外出できない、誰とも会えないというような状態でしたが、渡航前にせわしなかった私にとっては良い時間だったと感じています。台湾の空気を感じることができる物の、何もできないという環境なので、自分のやりたいことや目標を見つめ直すいい機会だったと感じています。

(3) 留学開始

隔離が終わり、台南に移動してよいよ留学がスタートしました。書類の提出や日用品の購入などを先に

来ていた留学生に助けをもらいながら行きました。決して上手くない英語や中国語を用いてなんとか自分の要望を伝えていたと記憶しています。そんなこともあり、本格的に授業、生活が始まりました。

1 授業

授業に関しては、英語での受講を希望しました。正直な感想を言うと思っていたほど良くなかったと思いました。よくイメージされる海外の大学という学生との発言機会が多く生き生きとした講義室などが思い浮かべられると思いますが、良くも悪くも日本と同じという雰囲気でした。また、個人的に一番がっかりしたポイントとして、英語での授業のほが、ある授業では中国語が使用されていたという点です。自分の中国語が劣っていることありますが、十分に理解できたとは思いませんでした。

2 日常生活

日常生活において特に困ったことなどはありませんでした。私は2人部屋の寮に住んでいてルームメイトがいましたが、大きなトラブルなく過ごすことができました。食事についてはキッチンがなかったため、毎日外食をしていました。台湾にはキッチンのない家が多らしく、そのためもあってか飲食店が町中にあります。特に台南は美味しいご飯が多らしく、食事好きな方にはおすすめかもしれません。交友関係についてですが、基本的に留学生同士で過ごす人が多かったと思います。留学生は同じ寮に住んでいることもあってか、知り合うことが容易だと思います。留学生間ではほとんど英語しか使わなかったため、英語の学習は必須だと感じました。基本的に台湾人との交流はクラブや授業等なので、台湾にいるにも関わらず意外と台湾人と知り合う方がハードルが高かったです。言語について、私は留学生と過ごしていたことが多いのと、英語での受講をしていたことで英語の方が中国語よりも圧倒的に上達したと思います。中国語については正直話す機会が多いとは思いませんでした。私含め、中国語が流ちょうな留学生がほとんどいないため、台湾人学生との会話でも英語を用いることが多かったです。中国語を勉強したいなら台湾人のみのコミュニティに属すなど、これも英語を学習するよりハードルが高くなるかと思いました。

3 空き時間

空き時間では友達と観光したり、だらだら話し込んだりすることが多かったです。交換留学生は時間がある人が多いので平日でも一日中出かけることもありました。また、私はクラブ活動にも参加しました。最初は3から4クラブほどに顔を出していましたが、最終的にはドラゴンボートのクラブのみに残りました。正直、交換留学生が台湾人と知り合うにはクラブ活動かメインになると思うので、台湾人と知り合いたい方にはおすすめです。

(4) 留学後

実際に留学を終えて率直に行って良かったと思いました。今まで出会った来なかった価値観や考え方の人と出会うことができ、多様性の成長のようなものを感じました。同じ東アジアの国である台湾でも多くの違いを感じ取りました。例を出すと、台湾では日本ほど周囲の目をあまり気にしない人が多く、自立心がある人が多いと感じました。生活の中でも、いい部分だと困っていたら声をかけ、助けてくれる人が多かったです。悪い部分だと道路上でのマナーが日本ほど良くないと感じました。また、多くの国から交換留学生が来るため、それぞれの国について知るきっかけとなりました。やはり短期間の旅行では良い面、悪い面を知ることではできてもその背景や文化的違いなどは知ることが難しいと思うのでそこを含めて留学だと感じました。単に授業を受けるだけ、言語を学ぶだけならオンラインでも十分だと思うのですが、実際に現地に行って生活すること、時間を過ごすことの大切さに気づけたような気がします。留学をすることでお金はもちろん必要だし、人によっては卒業が遅れたりすることもあると思いますが、留学の難易度は社会人になってからだとさらに上がると思います。私自身、卒業が1年遅れることとなりましたが、留学したことの後悔は感じていません。留学へのハードルは思っているよりも高いものではないとも感じました。留学を考えている人は是非、機会のある大学生の内に挑戦してみてください。